

# ■まいスキツ連載 家の匠 「窓が大切」

元来日本家屋は、日本の四季や風土を利用するよう考え抜かれた工口住宅でした。そんな先人の知恵を取り入れ、自然エネルギーを使い快適な住空間をつくる工務店があります。米原市顔戸にある「北村工務店」は、大工でもある4代目の建築家が、設計・デザイン・製作まですべてをこなす日本住宅を知り尽くした工務店。そんな家の匠 北村さんが快適な住宅にするための工夫を教えてくださいました。

快適な住宅とは、家中が夏涼しく冬に暖かい住まい。そのためには、夏は家の中に外の温度を入れないこと、冬は暖房をした温度を逃がさないことが大切です。一般的には壁や屋根に断熱材をいれ、外の熱を遮断しているので熱は伝わりにくくなっていますが、実は住宅で一番断熱が弱いところがあります。それが「窓」。

窓は壁や屋根に比べ薄いガラスのみで室内と外とを遮っているため、面積が小さくても熱を伝えやすいのです。では、窓はどれくらい断熱に弱いかというと、夏に外から入ってくる熱の70%近くは窓からです。冬だと50%の熱が窓から逃げていきます。つまり、快適な



住宅にするには窓の断熱が一番大切なのです。新築の場合は壁・床・天井の断熱材をいいモノにするぐらいなら、窓を高性能にする方が住宅の性能は格段に上がります。リフォームの場合は窓も大切ですが、家の弱点を見つけてその部分を解決することが大切です。



型にはまらない家作りをします！北村工務店



匠と創る家づくり  
TAKUMIDO



住：米原市顔戸 1361-20

TEL: 0749-50-3208

営：8:00～21:00

休：無休 駐：あり

URL: <http://e-takumido.com>